

②コンプライアンス改革

大項目	課題	具体的取組	要 旨	着手年度
Ⅰ 透明性の確保	1 公正確保の仕組みづくり	①内部統制システムの確立	組織の服務規律を徹底し自浄能力を高めるために、内部コンプライアンス部門の設置、「公正職務執行に関する要綱」の改正し、団体・市民等からの要望などをすべて記録、公益通報制度の導入などを実施	⑰
		②外部監視制度の構築	市の組織内部のコンプライアンス機能を補完するために、市長直属の外部委員会を設置	⑱
		③入札制度（電子入札）の改革	談合を排除し、入札の透明性と競争性を確保するための入札改革	⑱
	2 情報公開の徹底	①情報公開制度の原則公開運用の定着	「情報はすべて原則公開」であることを職員に定着化	⑰
		②積極的に情報開示していく行政運営スタイルへの転換	局長に対する研修や「市長判断」時に局長自らが説明することなどによって市民に情報を開示・共有していく経営スタイルを定着化	⑰
		③監理団体・関連団体の情報公開の徹底	監理団体など計146団体に対する大阪市役所の財政的・人的関与などの情報公開を徹底	⑰
	3 財務情報の開示	①公会計制度の抜本的見直し	大阪市役所の経営状態を明らかにするために民間企業的な視点による財務諸表の整備	⑰
		②予算・決算情報のきめ細かな開示	予算書・決算書を市民からわかりやすくするための補完資料整備	⑰
	Ⅱ 社会責任の遂行	1 「安全」の確保	①安全管理に関する全庁的な取組体制の確立	事故情報や防止ノウハウを全庁的に共有する安全管理体制を構築
②多発する交通事故の削減に向けた対策の導入			市バス・ごみ収集車などをはじめとする交通事故の予防策を研究	⑰
③市民利用施設における事故の削減に向けた対策の導入			多くの局に共通する市民利用施設での事故防止対策を研究	⑰
2 環境への配慮		①大阪市自らが率先した環境保全行動の強化	大阪市役所自らが事業体として、積極的な庁内での環境保全行動の取組強化	⑰
		②環境関連計画の推進	環境関連の市の施策の着実な実行	⑰
3 個人情報の保護		①市が保有している個人情報の必要性の再チェック	大阪市役所が既に保有している個人情報についてその必要性を再チェックして市民からの信頼感を確保	⑰
		②委託先業者が保有する個人情報の保護対策	市の委託先業者が保有する個人情報の保護体制の厳格化により大阪市役所に対する市民からの信頼感を確保	⑰
		③市職員自身の個人情報保護	職員自身の個人情報の扱いについて考え方を整理	⑱
Ⅲ 管理 職員の自立・自主		1 自主的改善・改善の基盤整備	①職場改善運動の展開	職場改善運動の展開により、職員が自らの仕事の意義を見つめ直し、常に職場を改善する風土を醸成
	②新しい職員提案制度の作り直し		職員自身が発案して、そのアイデアで新しい仕事にチャレンジできる仕組みづくり	⑰
	③大阪市職員行動指針の策定		市民から信頼される大阪市役所職員として、日常的に行動すべきことがらの明示	⑰